

「補足資料」 「主の過越」 (le Passage du Seigneur)

聖ペルナルドの復活祭の説教に学ぶ「主の過越の神秘」

この「大いなる主日」(復活の主日から聖霊降臨の主日に至までの50日間)の神秘を深く考察しよう。即ち、復活、過越、移転 (un changement de demeure) について見極めよう。

今日、キリストは戻られたのではなく、まさに復活させられたのだ。つまり、お帰りになったのではなく、あくまでも、過ぎ越されたのだ。即ち、イエスは帰還なさったのではなく、全く新たな次元への移行なさったのだ (マルコ 16.7 参照)。

今や、「主キリスト」は、新しいのちへと過ぎ越されたからである。それは、我々を、主の過越の神秘に豊かに与^{あず}からせるために他ならない。

ちなみに、使徒パウロは、彼の復活信仰を次のように分かち合ってくれる。

「しかし私にとって益であったものすべてを、〔然^{しか}り〕それらを、私はキリストのゆえに損失^{そんしつ}と思うようになってしまった。否^{いな}、そればかりか、私は私の主キリスト・イエスについての知識^{ちかく}の卓越したすばらしさのゆえに、すべてのものを損失である^{たくまつ}とさえ思っている。そのキリストのゆえに、私はすべてを失った。そして私は、〔それらを〕屑^{くず}と思っている。それは、私がキリストを得、彼のうちに見いだされるためである。・・・それはキリストを、そして彼の蘇^{よみがえ}りの力を知り、そして彼の死と同じ形にされながら、彼の〔それらの〕苦難に参与する〔すべ〕を〔知る〕ためである。」(『岩波聖書』フィリピ 3.7-10 参照)